



母校でCM撮影

行橋出身の橘さん

京築FCが全面的に協力

行橋市出身で東京都在住の映画監督、橘剛史さん(21)が、みやこ町の平成筑豊鉄道・犀川駅と、母校でもある行橋市の県立京都高校舎でCMを撮影した。同校生徒がエキストラとして出演し「京築フィルムコミッション(京築FC)」「(村上敏之代表)が全面的に協力した。

【出来祥寿】

橘さんは06年春に同高を卒業後、映画監督を目指して東京の映画専門学校に進んだ。その一方で、自主映画を映画祭などに出品。さまざまな賞を受賞するなどフリーの立場

橘さんは06年春に同高を卒業後、映画監督を目指して東京の映画専門学校に進んだ。その一方で、自主映画を映画祭などに出品。さまざまな賞を受賞するなどフリーの立場

生徒25人も出演

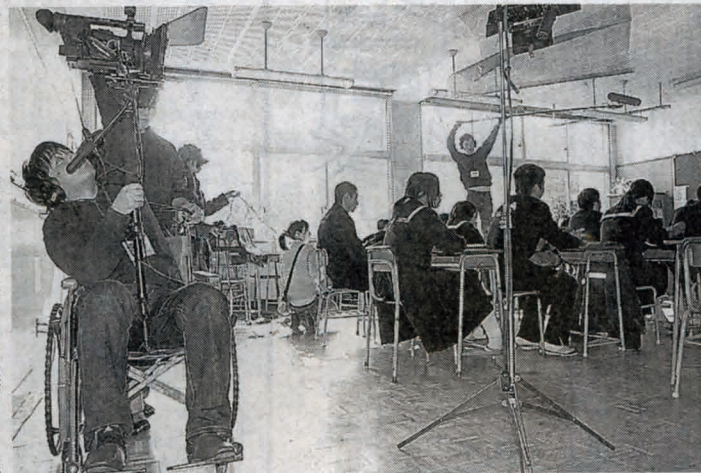
で活躍している。今回の作品は大手菓子メーカーのCMで、カンヌ広告祭に出品するとい

このうち京高では1年生の教室を使った。橘さんが車椅子に乗ってカメラを移動させながら撮影した。撮影には京高のバスケット

橘さんが京築地区で撮影するのは今回で2回目、京築FCやみやこ町、同鉄道が全面的に協力した。CMは、

ボール部の後輩ら生徒約25人が俳優と共演した。「納得がいく絵が撮

れた。人も温かどてもありがたい。FCがあるから地元で撮影し



車椅子に乗って移動しながら撮影する橘さん

ようという気になります」と橘さん。村上代表は「撮影の誘致は順調に進んでいて、FCを活用してくれてやりがいがある。あとは資金面で協力してくれる人がいればありがたい」と話していた。